

# 第5回 第4次静岡市総合計画策定会議

日時：2021年12月9日（木）

10時15分から11時30分

会場：静岡庁舎8階 市長公室

## 1 開会

## 2 市長挨拶

## 3 議題

(1) 基本構想について [資料1](#)

(2) 4次総の体系について [資料2](#)

(3) (仮) 7つの柱の進捗状況について [資料3](#)

(4) 4次総における政策・施策評価について [資料4](#)

## 4 報告事項

(1) 分野別計画の進捗状況 [資料5](#)

(2) 市民アンケート結果 [資料6](#)

(3) スケジュール [資料7](#)

## 5 閉会

次回会議（予定）

・2月1日（火）10:30～11:30 第6回4次総策定会議

### 3 (1) 基本構想について

基本構想の構成 修正案

1 (仮)  
まちづくりの  
目標

#### 世界に輝く静岡の実現

「持続可能なまちづくり」に取り組むことを記載

- 定義  
(仮)
- ・ 市民一人ひとりが”輝いて”自分らしい人生を謳歌できる安全安心な社会環境が整備されていること
  - ・ 広大な市域が擁する数多くの地域資源を磨き”輝かせ”、世界中から人々の集まってくる活力ある静岡市となること
  - ・ . . . .

2 (仮)  
実現に向けた  
基本的な  
考え方

人口活力の維持

(人口70万人維持に代わる目標)

地域経済の活性化

暮らしの充実

構成の  
詳細は  
検討中

### 3 (2) 4次総の体系について

基本構想

■まちづくりの目標

世界に輝く静岡の実現

持続可能なまちづくり

■実現に向けた基本的な考え方

人口活力の維持

地域経済の活性化

暮らしの充実

構成の詳細は検討中

議決事項

基本計画の考え方・立案の視点

- ①「人口活力の維持」を目標として掲げる。
- ②「地域経済の活性化」及び「暮らしの充実」を「人口活力の維持」の基本的な考え方として位置付ける。
- ③政策・施策立案の視点として、「SDGs」、「グリーン」及び「DX」を持つ。

7つの柱

歴史文化の地域づくり

海洋文化の地域づくり

教育・スポーツ文化の地域づくり

森林文化の地域づくり

まちは劇場の推進

健康長寿のまちの推進

安全・安心のまちの推進

分野別計画

① 観光・交流

② 農林水産

③ 商工・物流

④ 文化・スポーツ

⑤ 子ども・教育

⑥ 都市・交通

⑦ 社会基盤

⑧ 健康・福祉

⑨ 防災・消防

⑩ 生活・環境

市政運営を支える視点

市民との協働

民間活力の導入

アセットマネジメント

広域行政

行政におけるデジタルの活用

基本計画

実施計画

報告事項

実施計画

# 3 (3) (仮) 7つの柱作業部会進捗状況について

## (仮) 7つの柱作業部会日程及び検討内容 (案)

日程	部会	具体的検討事項	決定事項	備考
10/8(金)	第1回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4次総策定の概要</li> <li>・ ロジックモデルについて</li> <li>・ 今後のスケジュールについて</li> <li>・ 外部市民委員の人選検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7つの部会合同で実施</li> </ul>
10/26~28	第2回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロジックモデルの検討 (最終アウトカム、中間アウトカムの検討)</li> </ul>	<b>実施済</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/15 第4回策定会議</li> </ul>
11/29~12/1	第3回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロジックモデルの検討 (最終アウトカム・中間アウトカムの検討、手段、事業の検討)</li> </ul>		最終アウトカムの決定
12月~1月	第4回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロジックモデルの検討 (中間アウトカムの検討、手段、事業の検討)</li> </ul>	<b>12/9 第5回策定会議にてロジックモデルについて中間報告</b>	
1月	第5回作業部会 (政策・施策評価外部評価委員会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部市民委員とともにロジックモデル検討 (手段、事業へのアイデア出し検討)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部市民委員①</li> </ul>
2月	第6回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部市民委員とともにロジックモデル検討 (手段、事業へのアイデア出し検討)</li> <li>・ SDGsの組み込み検討</li> </ul>	<b>2/1 第6回策定会議にてパブコメ案の検討</b>	
3月	第7回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロジックモデル検討 (市民委員の意見を踏まえた手段、事業の検討、骨子案の検討)</li> <li>・ SDGsの組み込み検討</li> </ul>	<b>3月~パブリックコメント実施</b>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部会実施回数は各部会の進捗状況により変動あり</li> </ul>

# (仮) 7つの柱 政策・施策体系イメージ (例：歴史文化の地域づくり)

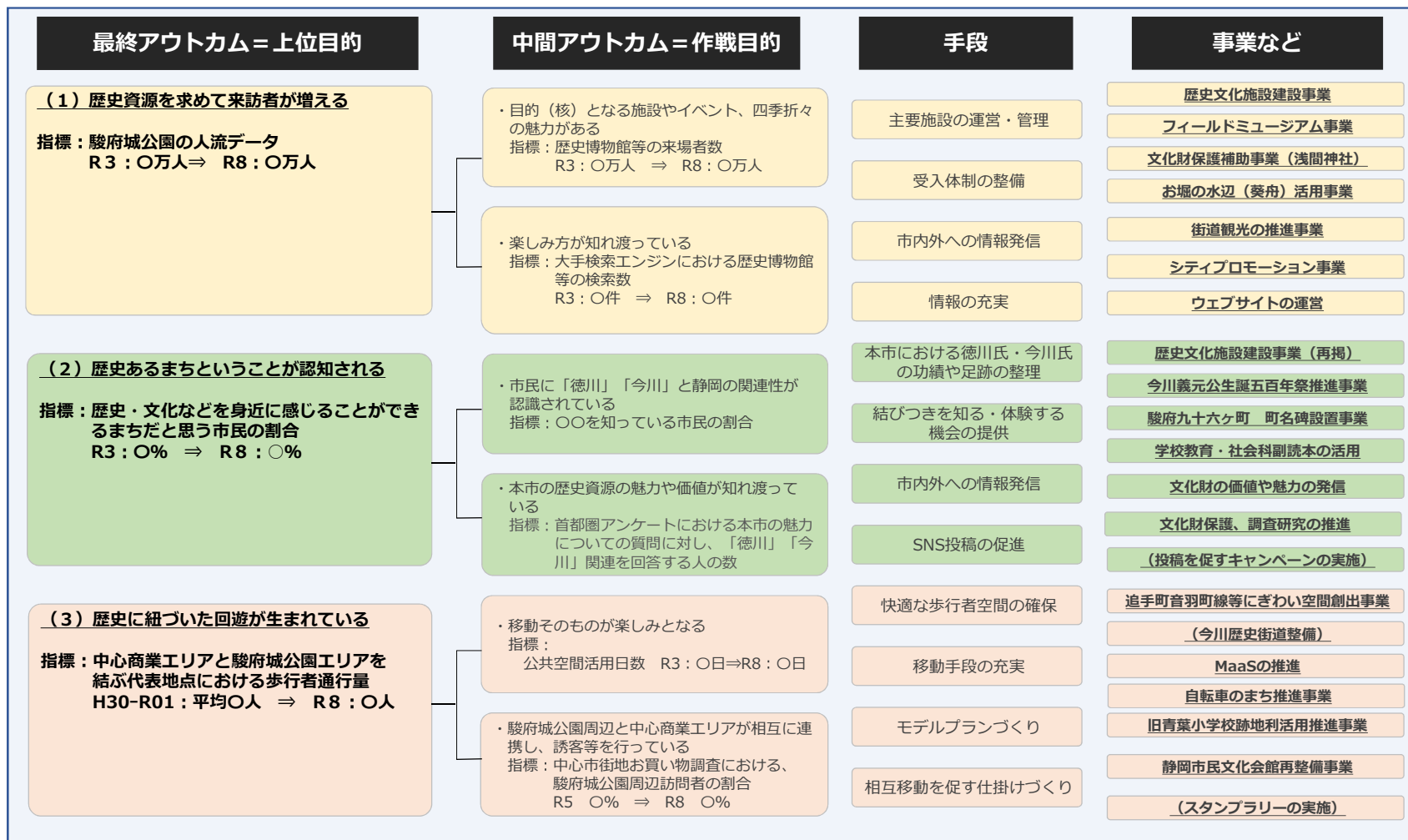
## 目指す姿

市民の歴史認識が醸成され、静岡に誇りと愛着を持つとともに、徳川氏・今川氏を中心とした歴史資源を活用し、世界中から人が集まり駿府城公園周辺が賑わっている

## 関連するSDGsゴール及びターゲット



## 政策・施策体系



# 「4次総・(仮)7つの柱ロジックモデル体系案」 第3回策定会議資料との比較

7つの柱	目指す姿(修正前)	4次総最終アウトカム(修正前)	目指す姿(修正後)	4次総最終アウトカム(修正後)	関連計画
歴史文化の地域づくり	市民の歴史認識が醸成され、静岡に誇りと愛着を持つとともに、徳川氏・今川氏を中心とした歴史資源を活用し、世界中から人が集まり「おまち」周辺が賑わっている状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 「静岡市と徳川氏・今川氏」の結びつきが市内外に広く定着した状態 (歴史認識)</li> <li>② 駿府城公園周辺の歴史資源が磨き上げられ、活用されている状態 (歴史施設、フィールドミュージアム)</li> <li>③ 駿府城公園周辺の歴史資源と中心商業エリアが相互に連携し、効果的に賑わいを生み出している状態 (回遊性)</li> </ul>	市民の歴史認識が醸成され、静岡に誇りと愛着を持つとともに、徳川氏・今川氏を中心とした歴史資源を活用し、世界中から人が集まり駿府城公園周辺が賑わっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 歴史資源を求めて来訪者が増える</li> <li>② 歴史あるまちということが認知される</li> <li>③ 歴史に紐づいた回遊が生まれる</li> </ul>	歴史文化のまちづくり グランドデザイン (策定予定)
海洋文化の地域づくり	世界に誇る駿河湾や清水港を最大限に活かした産業・観光・研究などにより、国内外から人が集まる国際海洋文化都市として、清水港周辺が賑わっている状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 時代に適応した港湾物流産業が強化・再配置され、集積している状態 (産業・物流)</li> <li>② 研究・産業により磨き上げられた多様な海洋資源を活用して交流が生み出されている状態 (交流・賑わい・観光)</li> <li>③ 海洋への愛着・関心が高い市民が増え、専門的な海洋人材が育っている状態 (研究・教育・環境)</li> </ul>	世界的にも希少な海洋環境である「駿河湾」、多様な海洋資源が集積する「清水港」を活かし、産業・研究・観光が生まれ高めあう「国際海洋文化都市」として、清水港周辺が賑わっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 海洋関連産業が集積する</li> <li>② 海洋に関する教育・研究が生まれる</li> <li>③ 海の魅力を求めて国内外から来訪者が増える</li> </ul>	清水みなとまちづくり グランドデザイン (2040年)
教育・スポーツ文化の地域づくり	市民が生涯にわたりまなび続けることができるとともに、スポーツが持つ「みる・する・ささえる」といった楽しみ方を活かすことで、JR東静岡・草薙駅周辺が賑わっている状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 魅力ある文化的な都市空間が創造されている状態 (場づくり)</li> <li>② まなびに触れる機会が充実している状態 (人づくり)</li> <li>③ まなびに関するコミュニティが生まれている状態 (エリマネ)</li> </ul>	東静岡・草薙地区を中心に生涯にわたって「まなび」続けられる環境が整い、市民が心豊かに生活をおくることができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 文化的な都市空間が形成され、来訪者が増加する (場づくり)</li> <li>② まなびに触れることで、市民のまなびに関する意欲が向上する (人づくり)</li> <li>③ まなびに関する交流が活発化する (コミュニティの形成)</li> </ul>	駿河学びのまちづくり グランドデザイン (2040年)
森林文化の地域づくり <b>New !</b>	自然豊かなオクシズにおいて、環境と経済が両立した持続可能な地域社会を実現し、そこに住む人々がいきいき輝くことにより、オクシズの魅力を世界に発信できている状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 農業や林業に代表される基幹産業により経済活動が持続している状態 (産業)</li> <li>② 多彩な地域資源の活用によりオクシズに訪れる人が増加し、地域全体が賑わっている状態 (交流)</li> <li>③ 住み慣れた地域で住民の生活環境が維持され、安心した生活ができている状態 (生活基盤)</li> </ul>	市域の80%を占める「オクシズ」において、森林や農地の保全や、住民の生活環境の維持向上が図られることで、多様な地域資源が世界基準に磨き上げられ、有効に活用されている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地域資源や森林・農地を有効に活用し、経済活動が活発化する。</li> <li>② オクシズの楽しさや大切さが広く知られることで、観光や自然体験、環境保全活動が盛んに行われる</li> <li>③ 住民の生活環境が維持され、安心した生活を送ることができる</li> </ul>	オクシズ 地域おこし計画 (2022年)
健康長寿のまちの推進	市民が、できる限り、健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた「自宅ですつと」、自分らしく暮らすことができている状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 医療・介護の専門職の連携による切れ目のない支援体制が構築されている状態 (医療・介護)</li> <li>② 市民の連携による地域での支え合い体制が構築されている状態 (地域支え合い)</li> <li>③ 市民の自主的な健康長寿の取組が促進されている状態 (自主的な活動)</li> </ul>	市民が、できる限り、健康で人生を楽しむことができ、住み慣れた「自宅ですつと」、自分らしく暮らすことができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康長寿で暮らすための切れ目のない支援体制が構築される</li> <li>② 地域での支え合い体制が構築される</li> <li>③ 市民が自主的に健康長寿のために取り組む</li> </ul>	健康長寿のまちづくり計画 (2022年)
まちは劇場の推進	地域に根付いた大道芸や演劇・音楽などの芸術文化の力により、一人ひとりの心を豊かに満たし、365日誰もが輝いている状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市民が、日常的に芸術文化に触れ、楽しむことで、静岡市に対する誇りや愛着を持っている状態 (日常性)</li> <li>② 芸術文化が行われている雰囲気求めて、世界から多くの人々が来訪している状態 (インバウンド)</li> <li>③ まちなかで芸術文化に触れることができる居心地の良い場所があふれている状態 (ウォークアブル)</li> </ul>	地域に根付いた大道芸や演劇・音楽などの芸術文化の力により、一人ひとりの心を豊かに満たし、365日誰もが輝いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 市民が、日常的に芸術文化に触れ、楽しむことで、静岡市に対する誇りや愛着を持つ</li> <li>② 地域の魅力・芸術文化を求めて国内外から多くの人々が来訪し、地域経済が活性化される</li> <li>③ まちに「ヒト・モノ・コト」との出逢いがあり、心が豊かになる場所があふれている</li> </ul>	まちは劇場 ロジックツリー (庁内資料)
安全安心のまちの推進 <b>New !</b>	市民生活を脅かす様々なリスクへの対策や対応が図られることにより、市民が不安なく豊かに暮らすことができている状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 局地的豪雨やそれに附随する災害に、的確に対策や対応ができている状態 (風水害)</li> <li>② 新型コロナウイルスなどの感染症に、的確に対策や対応ができている状態 (感染症)</li> <li>③ 市民が地域社会において、多様性を尊重し、他者への寛容性を有し、不安を感じることなく生活できている状態 (顕在化した社会的リスク)</li> </ul>	市民生活を脅かす様々な要因に対して、市民が不安を感じることなく、心豊かに暮らすことができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 静岡市が災害や感染症に強いまちであることが認知される</li> <li>② 子どもに関わる犯罪や事故などの日常リスクへの対応が図られる</li> <li>③ 市民が地域の中で孤立することなく、自分らしく暮らせる</li> </ul>	

### 3 (4) 第4次総合計画における政策・施策評価の考え方

#### 1 3次総における政策・施策評価

年度	内容
平成26年度	第3次静岡市総合計画策定。全ての分野別計画の政策・施策に成果指標を設定
平成27～30年度	政策・施策外部評価委員会を設置し、分野別計画の政策・施策評価を実施
平成31～令和2年度	重点プロジェクトへのロジックモデルによる評価を試行的に実施 分野別計画の政策・施策評価を実施

#### 2 4次総における政策・施策評価（案）

- 「(仮) 7つの柱」については、ロジックモデルを用いて、計画・戦略から実施過程・成果までを包括的に評価する「プログラム評価」を行う。
- 一方で、分野別計画においても分野を代表する指標を設定し、政策・施策評価を実施する。

	マネジメント方法	指標設定	想定指標数	評価サイクル	評価手法																																			
(仮) 7つの柱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロジックモデル見直し</li> <li>・実施事業の見直し</li> <li>・実施事業の内容直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終アウトカムごとに1つ設定 (柱一つに3つ)</li> <li>・中間アウトカムごとに1つ設定 (柱一つに6つ)</li> </ul>	63	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">(仮) 7つの 柱</th> <th colspan="4">4次総前期</th> <th colspan="4">4次総後期</th> </tr> <tr> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>R10</th> <th>R11</th> <th>R12</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部 評価</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内部 評価</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>前期・後期の4年間で7つの柱の評価を実施</p>	(仮) 7つの 柱	4次総前期				4次総後期				R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	外部 評価			○				○		内部 評価	○	○	○	○	○	○	○	○	外部評価＋ 内部評価
(仮) 7つの 柱	4次総前期					4次総後期																																		
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12																																
外部 評価			○				○																																	
内部 評価	○	○	○	○	○	○	○	○																																
分野別計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の進捗状況確認</li> <li>・社会情勢を踏まえ、取組事業を見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分野全体を代表する指標を3つ設定</li> </ul>	30	毎年	内部評価																																			

# (仮)7つの柱の評価

- ・ロジックモデルを用いて、計画・戦略から実施過程・成果までを包括的に評価する「プログラム評価」を行う。
- ・最終アウトカム(3つ)、中間アウトカム(6つ)それぞれに一つずつ指標を設定する。
- ・最終アウトカム指標と中間アウトカム指標の達成度の関連等を踏まえ、ロジックモデルの見直しを行っていく。





# 分野別計画の評価

## 【3次総における課題】

- ・個々の政策や施策の成果を適正に把握できる指標の設定が困難である。  
(政策施策外部評価委員会での指摘)
- ・3次総で分野別計画の全ての政策・施策に指標を設定した評価は、職員の負担が多く、評価することが目的となってしまう。

## 【4次総における評価方法(案)】

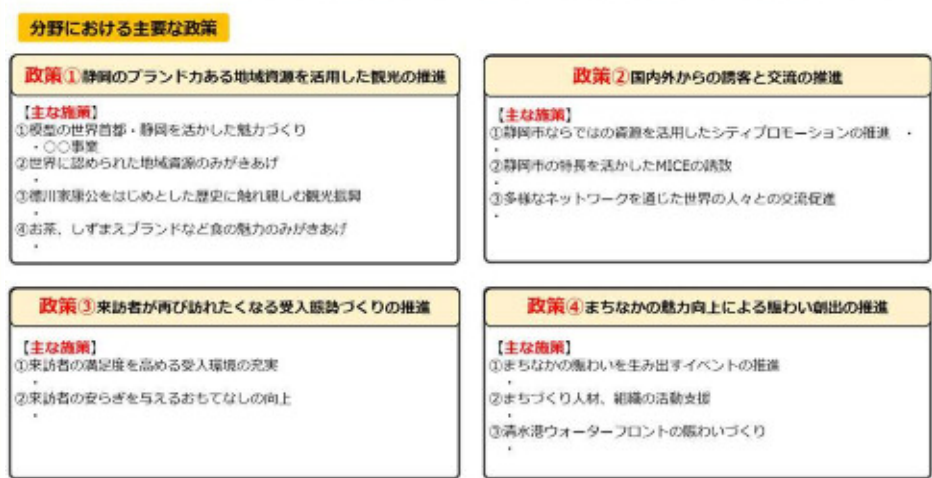
- ・政策や施策ごと個別に設定はせず、分野の代表的な指標を3つ程度設定する。
- ・指標の進捗管理を「政策・施策評価」、事務事業総点検表による各事業の評価を「事務事業評価」とする。

3次総分野別計画

4次総分野別計画(案)



41政策・132施策それぞれに指標を設定  
(合計173指標)



分野を代表する指標を各分野3つ程度設定  
(合計30指標)

## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>観光交流</b>
----	-------------

		職	氏名
1	部会長	観光交流文化局次長	
2	副部会長	商工部長	
3		農林水産部長	
4		中山間地振興課長担当部長	
5		海洋文化都市推進部長	
6	部会員	観光・MICE推進課長	
7		国際交流課長	
8		歴史文化課長	
9		文化財課長	
10		まちは劇場推進課長	
11		スポーツ交流課長	
12		日本平動物園長	
13		産業振興課長	
14		商業労政課長	
15		海洋文化都市政策課長	
16		農業政策課長	
17		水産漁港課長	
18		中山間地振興課長	
19		広報課長	
20	事務とりまとめ ※【主任者】を 選任してくださ い。	◎【主任者】 観光・MICE推進課 (局企画主任者)	
21		観光・MICE推進課	
22		国際交流課	
23		歴史文化課	
24		文化財課	
25		まちは劇場推進課	
26		スポーツ交流課	
27		日本平動物園	
28		産業振興課	
29		商業労政課	
30		海洋文化都市政策課	
31		農業政策課	
32		水産漁港課	
33		中山間地振興課	
34		広報課	

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	
--------------------------	-----	--

## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>農林水産</b>
----	-------------

		職	氏名
1	部会長	農林水産部長	
2	副部会長	中山間地振興担当部長	
3		農林水産部理事	
4	部会員	農林水産部参与兼農業政策課長	
5		農地利用課長	
6		農地整備課長	
7		治山林道課長	
8		水産漁港課長	
9		中山間地振興課長	
10		経済事務所長	
11		農業政策課お茶のまち推進担当課長	
12		事務とりまとめ ※【主任者】を 選任してください。	◎【主任者】 農業政策課長補佐兼係長
13	農業政策課 主任主事		
14	農地利用課 係長		
15	農地整備課 主任主事		
16	治山林道課 主査		
17	水産漁港課 主査		
18	中山間地振興課 主査		
19	経済事務所 主査		

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	
--------------------------	-----	--

## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>商工・物流</b>
----	--------------

		職	氏名	
1	部会長	経済局次長兼商工部長		
2	副部会長	海洋文化都市推進部長		
3	部会員	参与兼産業政策課長		
4		地場産業担当課長		
5		産業振興課長		
6		商業労政課長		
7		雇用労働政策担当課長		
8		中央卸売市場長		
9		海洋文化都市政策課長		
10		みなと振興・色彩担当課長		
11		事務とりまとめ ※【主任者】を 選任してください。	◎【主任者】 産業政策課 主任主事	
12			産業政策課 主査	
13	産業振興課 主査			
14	商業労政課 主任主事			
15	商業労政課(雇用) 主査			
16	中央卸売市場 主査			
17	海洋文化都市政策課 主査			
18	海洋文化都市政策課(みなと振興) 主査			

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	

## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>文化・スポーツ</b>
----	----------------

		職	氏名
1	部会長	観光交流文化局次長	
2	副部会長	市民局次長	
3	部会員	歴史文化課長	
4		文化財課長	
5		まちは劇場推進課長	
6		文化振興課長	
7		スポーツ振興課長	
8		スポーツ交流課長	
9		生涯学習推進課長	
10		事務とりまとめ ※【主任者】を 選任してくださ い。	◎【主任者】 観光・MICE推進課
11	歴史文化課		
12	文化財課		
13	まちは劇場推進課		
14	文化振興課		
15	スポーツ振興課		
16	スポーツ交流課		
17	生涯学習推進課		
18	市民自治推進課(局企画主任者)		

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	
	企画課	

## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>子ども・教育</b>
----	---------------

No.	部会	職	氏名
1	部会長	子ども未来局次長	
2	副部会長	教育局次長	
3			
4	部会員	子ども未来課長	
5		青少年育成課長	
6		理事(幼保支援課長事務取扱)	
7		こども園課長	
8		子ども家庭課長	
9		参与兼児童相談所長	
10		教育局理事 教育総務課長	
11		教育総務課 教育力向上政策担当課長	
12		教職員課長	
13		参与兼教育施設課長	
14		学校教育課長	
15		児童生徒支援課長	
16		学校給食課長	
17		教育センター所長	
18		中央図書館長	
19		事務とりまとめ	◎【主任者】子ども未来課 主幹兼企画係長
20	青少年育成課 主査		
21	幼保支援課 主査		
22	こども園課 主任主事		
23	子ども家庭課 係長		
24	児童相談所 主査		
25	教育総務課 主任主事		
26	教職員課 主査		
27	教育施設課 副主幹		
28	学校教育課 主査		
29	児童生徒支援課 主任主事		
30	学校給食課 主任技師		
31	教育センター 主任主事		
32	中央図書館 主査		
33	子ども未来課 主任主事		
34	教育総務課 主査		

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	
	企画課	

## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>都市・交通</b>
----	--------------

		職	氏名
1	部会長	都市局次長兼都市計画部長	
2	副部会長	建築部長	
3		交通政策・MaaS担当部長	
4		緑化政策担当部長	
5	部会員	都市計画課長	
6		都市企画担当課長	
7		参与兼交通政策課長	
8		開発指導課長	
9		市街地整備課長	
10		再開発担当課長	
11		新インターチェンジ周辺整備課長	
12		清水駅周辺整備課長	
13		緑地政策課長	
14		参与兼公園整備課長	
15		都市計画事務所長	
16		参与兼建築総務課長	
17		参与兼建築指導課長	
18		住宅政策課長	
19		公共建築課長	
20		設備課長	
21	事務とりまとめ ※【主任者】を 選任してくださ い。	◎【主任者】 都市計画課 課長補佐兼調整係長	
22		都市計画課 主査（局企画主任者）	
23		都市計画課 主任主事（部企画主任者）	
24		建築総務課 参事兼課長補佐（部企画主任者）	
25		都市計画課 副主幹	
26		交通政策課 主査	
27		開発指導課 主査	
28		市街地整備課 主査	
29		新インターチェンジ周辺整備課 主査	
30		清水駅周辺整備課 主任技師	
31		緑地政策課 主査	
32		公園整備課 主任技師	
33		都市計画事務所 主査	
34		建築総務課 屋外広告物係長	
35		建築指導課 安全推進係長	
36		住宅政策課 主査	
37		公共建築課 主任技師	
38		設備課 主査	

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	
--------------------------	-----	--

## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>社会基盤</b>
----	-------------

		職	氏名
1	部会長	建設局次長兼土木部長	
2	副部会長	道路部長	
3		道路整備調整担当部長	
4		上下水道局次長兼水道部長	
5		水道技術担当部長	
6		下水道部長	
7		部会員	参与兼建設政策課長
8	参与兼技術政策課長		
9	土木管理課長		
10	参与兼河川課長		
11	参与兼道路計画課長		
12	参与兼道路保全課長		
13	経営企画課長		
14	参与兼下水道総務課長		
15	下水道計画課長		
19	事務とりまとめ ※【主任者】を 選任してください。		◎【主任者】建設政策課
20		建設政策課	
21		技術政策課	
22		土木管理課	
23		河川課	
24		道路計画課	
25		道路計画課	
26		道路保全課	
27		経営企画課	
28		経営企画課	
29		下水道総務課	
30		下水道計画課	

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	
--------------------------	-----	--



## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>健康福祉</b>
----	-------------

		職	氏名
1	部会長	保健福祉局次長	
2	副部会長	地域包括ケア推進本部長	
3		保健衛生医療部長	
4		保健所長	
5	部会員	清水病院事務局長	
6		地域包括ケア推進本部次長	
7		福祉総務課長	
8		健康づくり推進課長	
9		障害福祉企画課長	
10		障害者支援推進課長	
11		高齢者福祉課長	
12		介護保険課長	
13		保険年金管理課長	
14		地域リハビリテーション推進センター所長	
15		保健衛生医療課長	
16		こころの健康センター事務長	
17		動物指導センター所長	
18		保健予防課長	
19		生活衛生課長	
20		食品衛生課長	
21		精神保健福祉課長	
22		清水病院総務課長	
23	事務とりまとめ ※【主任者】を 選任してくださ い。	◎【主任者】福祉総務課 調整係	
24		地域包括ケア推進本部	
25		健康づくり推進課	
26		障害福祉企画課	
27		障害者支援推進課	
28		高齢者福祉課	
29		介護保険課	
30		保険年金管理課	
31		地域リハビリテーション推進センター	
32		保健衛生医療課	
33		こころの健康センター	
34		動物指導センター	
35		保健予防課	
36		生活衛生課	
37		食品衛生課	
38		精神保健福祉課	
39		清水病院総務課	

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	
--------------------------	-----	--

## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>防災・消防</b>
----	--------------

		職	氏名
1	部会長	危機管理総室長	
2	副部会長	消防部長	
3		警防部長	
4	部会員	危機管理総室次長	
5		危機管理総室参与	
6		消防総務課長	
7		警防課長	
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14	事務とりまとめ  ※【主任者】を 選任してくださ い。	◎【主任者】 危機管理総室主査	
15		危機管理総室主幹兼係長	
16		消防総務課参事兼係長	
17		消防総務課副主幹	
18		警防課参事兼課長補佐	
19		警防課主査	
20			
21			
22			

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	
	企画課	

## 第4次静岡市総合計画 分野別部会組織表

分野	<b>生活環境</b>
----	-------------

		職	氏名
1	部会長	環境局次長	
2	副部会長	市民局次長	
3		経済局次長兼商工部長	
4	部会員	環境創造課長	
5		環境保全課長	
6		環境保健研究所長	
7		ごみ減量推進課長	
8		廃棄物対策課長	
9		収集業務課長	
10		廃棄物処理課長	
11		市民局参与兼生活安心安全課長	
12		産業政策課長	
13	事務とりまとめ ※【主任者】を 選任してくださ い。	◎【主任者】環境創造課 局企画主任者 主査	
14		環境創造課企画主任者主査	
15		環境創造課 主査	
16		環境創造課主任主事	
17		環境保全課課長補佐兼大気係長	
18		環境保全課企画主任者副主幹	
19		環境保健研究所生活科学係長	
20		環境保健研究所企画主任者副主幹	
21		ごみ減量推進課企画主任者主任主事	
22		廃棄物対策課企画主任者主査	
23		収集業務課企画主任者主査	
24		廃棄物処理課企画主任者主査	
25		市民自治推進課局企画主任者調整係長	
26		生活安心安全課企画主任者係長	
27		生活安心安全課主任主事	
28		産業政策課主査	

調整担当(企画課) ※企画課で記入します。	企画課	
	企画課	

## 4 (2) 第4次総合計画策定に関する市民アンケート結果 (ポイントまとめ)

【調査内容】○調査対象 18歳以上の市民(無作為抽出) 送付数 3,000人(回収数:1,379人、46.0%) ○調査方法 郵送調査・自記式アンケート  
○設問内容 ①生活全体に関する項目 ②市の施策の満足度・将来の重要性 ③行政サービス維持に向けた取組  
④市民負担と市民サービスのあり方 ⑤デジタル技術を活用した行政サービス等

### 【生活に関する項目のまとめ】

- ・多くの市民は概ね静岡市での暮らしに満足しており、特に、「食生活」や「住生活」は満足度が高い。
- ・全国調査と同様に、「所得・収入」や「資産・貯蓄」に関する不満感がある。年代別では特に若年層の不満感が高いものの、市全体としては県外出身者の満足度が比較的高い。
- ・全国調査と比較しても、「レジャー・余暇生活」については不満感が高く、特に30代、40代の女性が不満を感じている。
- ・「心の豊かさを感じる 때가いつか」という設問では、ゆったりと休養しているとき(56.8%)、家族団らんのとき(52.1%)、趣味やスポーツに熱中しているとき(49.9%)、友人や知人と雑談・会合しているとき(45.7%)であり、仕事に打ち込んでいるとき(17.3%)は全国よりも12.3ポイント低い。

➡ 静岡市民も「所得や収入」、「資産・貯蓄」を良くしたいとの思いもあるものの、全国と比較すると「レジャー・余暇生活」を充実させたいとの思いがある。  
また、休養や家族や友人との時間、趣味やスポーツ等に心の豊かさを感じており、ワークライフバランスのとれた生活を求めている。

### 【市の施策に関する項目のまとめ】

#### ○安全安心面の施策

- ・災害の激甚化やコロナによって、「安全安心」に対する意識が高まっているが、通常の医療体制や生活インフラの維持等については概ね満足している。

#### ○くらし面の施策

- ・高齢者、こども、障がい者支援等の福祉関連とともに、環境保全や地球温暖化対策等の持続可能な自然環境を維持することについても重要性が高いと認識している。

#### ○活気・賑わい面の施策

- ・安全安心、くらしと比較すると満足度が低く、特に企業活動の活性化や中心市街地活性化等の経済活性化に積極的に取り組むべきであると感じている。

# 4 (3) 4次総作業スケジュール

